

「2学期を終えて～コロナを乗り越えさらに前へ～」

校長 福澤 秀

今日で2学期も最後となりました。
2学期の子どもたちの様子は、これまで学校通信等を通してお伝えしてきました。
今学期も、子どもたちの成長した姿を、保護者・地域の皆様と共有できたことは嬉しい限りです。
また、学校のHPもリニューアルされ、今までよりも見やすくなりました。学校のグランドデザインやいじめ防止対策、学校通信もアップロードしていますので、是非、ご覧ください。

さて、5月にコロナウィルス感染症が5類に移行され、学校はこれまで制限されてきた教育活動についても、必要性を十分に検討した上で積極的に実施していくことができるようになりました。
その際に最も留意していることは、これまで制限されてきた学校教育活動のうち真に必要なものを回復させることや、GIGA スクール構想の下で生み出されてきた多様な教育実践の工夫を取り入れることなど、新しい学びの在り方へと進化を図っていくことです。

授業をご参観いただいた皆様はすでにご承知のことと存じますが、授業を含めた学校生活でタブレット端末が当たり前に使われています。朝は生活リズムチェックシートへの入力から始まり、北海道新聞の記事データベース「まなベル」を活用して新聞記事を読んだりしています。授業ではアプリを活用して問題を解いたり、意見集約をタブレット上で行い、それを資料に話し合いをしたり、教師が板書の代わりにタブレット上でまとめをするなど、GIGA スクール構想の下で生み出されてきた教育実践は、教室の子どもたちの様子を大きく変えました。
この傾向は、今後更に進んでいくものと思います。
その一方で、学校にとって必要なものは残していく予定です。
例えば、校内陸上大会や明星祭といった行事、明星祭で復活させた「全校合唱」、「ノンダストプロジェクト」のような地域と連携した活動、「いじめ撲滅集会」や「ユニセフ集会」のような集会活動などがそれに当たります。
なぜなら、全校生徒が一丸となって取り組む活動は、子どもたちばかりでなく本校にとっても貴重な財産であり、よき伝統でもあるからです。
このように考えると、デジタル化がいかに進もうとも、やはり学校というところは、授業であれ行事であれ、子どもたちが協力し合いながら作りあげる教育活動を大切にすると考えてなりません。

話は変わりますが、コミュニティ・スクールの導入に関わり、コロナ禍の前から地域と学校の連携・協働が強く打ち出されてきました。そのためには、まずは地域の皆様に学校の状況をご理解いただくことが必要です。
先月、ありがたいことに新旭川地区市民委員会のお計らいで、11月12日に行われた会長・総務部長研修会の折に、本校と校区の3小学校がそれぞれの学校運営について地域の皆様に直接お話しする機会をいただきました。
こうした機会を生かし、地域と学校の連携・協働をさらに進めることで、子どもたちにとっての新しい学びが再構築できればと願うところです。
貴重な場をご提供いただいたことに改めて深く感謝いたします。

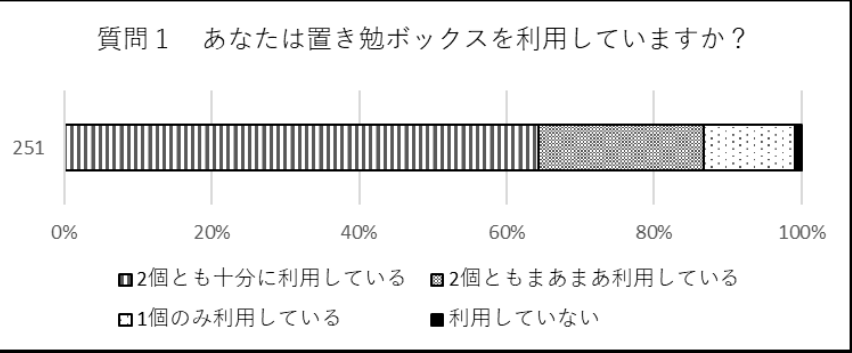
師走も後半にさしかかり、いつの間にか学校前の道路にも雪が高く積もり、道幅が狭くなり、歩道と車道の間にも雪の壁ができてきました。
毎朝、生徒玄関前で挨拶しながら子どもたちを迎えているのですが、さすがに、お子さんの送迎をする保護者の車が多くなりました。
やはり、送迎の時間が重なることが多く、当然、車の台数も多くなります。
しかしながら、そうした時間帯は登校する子どもの数も多いので、道路を渡る子どもたちを見ていて、何度がヒヤッとする場面がありました。
さらに、車同士もすれ違いづらくなっています。
朝の時間帯は、誰もが急いでいるもの。しかも、学校前を通るのは学校関係者の車ばかりではありません。交通安全には十分気をつけてください。

生徒のみなさん。いよいよ明日から冬休みが始まります。
3年生は受験を目前に控え、1、2年生は、3学期の学校生活を見据え、それぞれの目標を設定していることと思います。
来年は辰年です。辰年には「運気の上昇」「景気が上向く」などといった言い伝えもあるようです。
冬休みを終えたみなさんが、前向きな気持ちで、そして笑顔で3学期始業式の日に登校してくれることを期待しています。

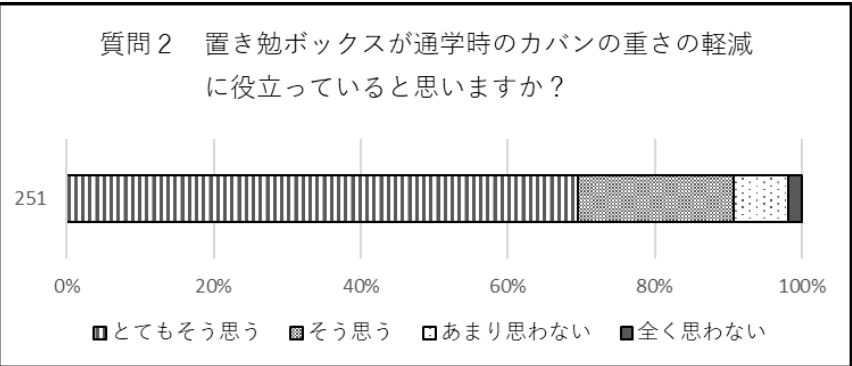
最後になりますが、今学期の本校の教育活動に対し、保護者の皆様、地域の皆様からいただきました御理解と御協力に感謝いたします。ありがとうございました。



置き勉ボックスアンケート結果



以前より学習道具が重く、登下校において、かなりの負担になっていることが生徒アンケートや保護者アンケートからも御意見をいただいております。対策として、数年前より、学級内に置き勉ボックスを置き、学校に学習道具を置いておけるようにしました。そして今年度からは、その置き勉ボックスを2個に増やし、置いていく学習道具も生徒の判断に委ねて実施しています。そこで、使用状況についてアンケートを実施しましたので、結果をお知らせします。

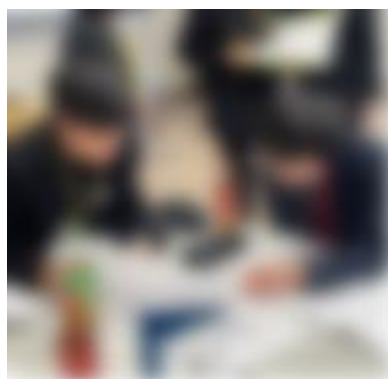


質問3 置き勉ボックスを十分に使用していない生徒の理由は？

- 教科書・ワークなどを家庭学習で利用している。【17人】
- 教科書・ワークなどを持ち帰らないと落ち着かない。【10名】
- 宿題のため。【8名】
- 置いておくことを忘れる。●トレーニングのため。●置き勉ボックスまでもっていくのが面倒だから。●2つのボックスの距離が遠いから使用しにくい。●塾で使うから。●学期末に持ち帰る時、置き勉しておくとしりもち帰る量が多くなり、結局肩に負担を抱えて大変だから。●親に持って帰ってこいと言われているから。●家での家庭学習に使っている。5教科以外は置いていってる。●副教科などしか入れてないため。●持ち帰らなくても問題ないものを置いているから。●全部の教科書を持ち運ぶため使わない。【以上すべて1名】



旭川市中学校連盟生活部12月研修会 12/5(火)



市内中学校の生徒会役員を中心に集まり、各学校の取組を交流する会ですが、今年度の12月は、子ども総合相談センターを会場に、本校が当番校として運営を行いました。各学校の代表生徒が集まっているだけあり、大変積極的に活発な会となりました。本校の生徒会役員を中心とした担当生徒のみなさんも立派に運営をやり遂げることができました。

ユニセフ集会 12/13(火)



明星中で伝統的に行われているユニセフ集会ですが、今年は体育館で全校生徒が集まって実施されました。生徒会役員がユニセフの活動を紹介し、より活動に興味を持ってもらうために、クイズも行われました！3年生が積極的に盛り上げ、全校生徒が楽しみながらも活動の意義を学ぶことができる集会となりました！

ユニセフ募金活動 12/14(木)～19(火) 募金総額 52,217 円 (うち地域 32,857 円)

上記のユニセフ集会を行った後、募金活動を行いました。校内で生徒の皆さんへの募金活動を14(木)～19(火)で行い、地域の方への募金活動を18(月)と19(火)の二日間で行いました。校内募金活動は生徒会役員と1・2年生の正副委員長で行い、地域への募金活動は生徒会役員と1・2年生のボランティア生徒で、本校生徒玄関前で行いました。大雪にも見舞われ、大変寒い中にも関わらず、写真にある通り、地域の方から多くの募金をいただくことができました！本当にありがとうございました！



図書委員会企画「新聞クイズ大会」 12/19(金)



図書委員会の企画で、昼休みに図書室で「新聞クイズ大会」が行われました。図書室には、図書館司書の長尾さんが週3回勤務され、おすすめ図書の紹介をはじめ、本のレイアウトなどを含め、魅力的な図書室をつくっていただいています。その中で、新聞もおかれています。なかなか生徒の手が伸びていない現状があります。そこで図書委員会ですら新聞に興味を持ってもらおうと企画したものです。生徒の皆さんも、新聞を読んで社会に目を向けて、少しでも視野を広げてほしいと思います。

後期授業風景



最近の授業の様子ですが、1年生では技術・家庭科で調理実習と、保健体育科で柔道が行われました。また全学年を通して、ICTを活用した授業が進んでいます。ICTに関わる研修も行い、どの教科でもタブレットが使用され、生徒の思考力を高める授業の構築に役立っています。数学科では今年度、「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」の連携校となり、市の推進教員が定期的に来校され、ICTを活用した授業づくりのサポートを行っています。